

週間漁海況情報—第34号

平成27年9月1日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

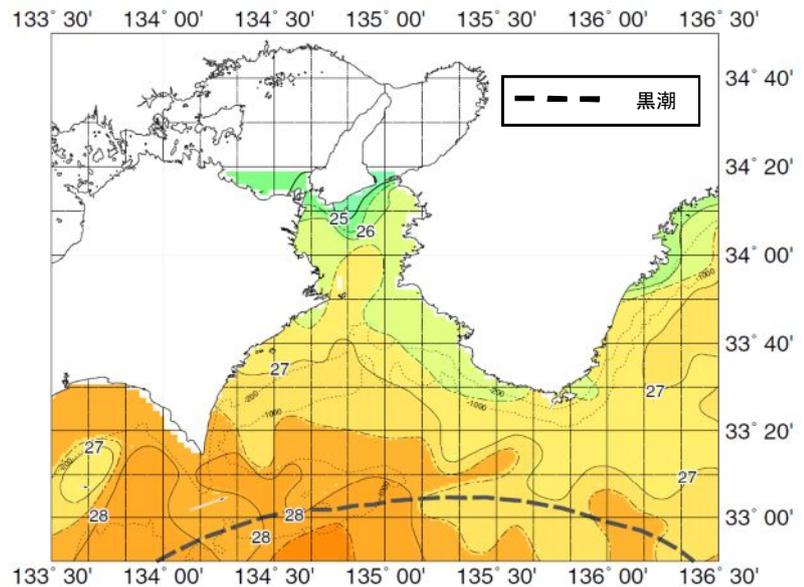
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.9.1）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

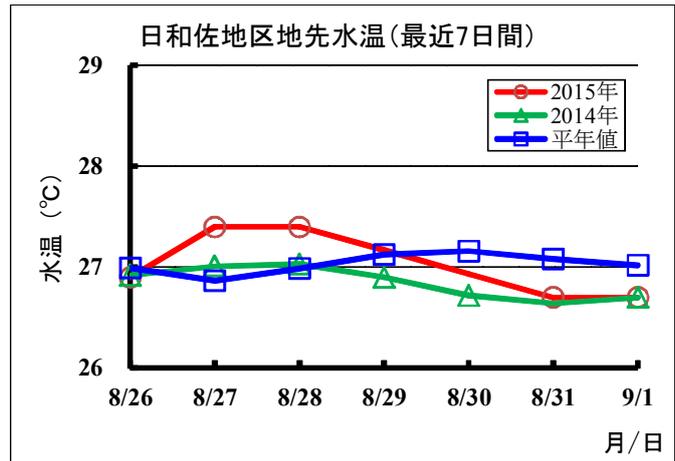
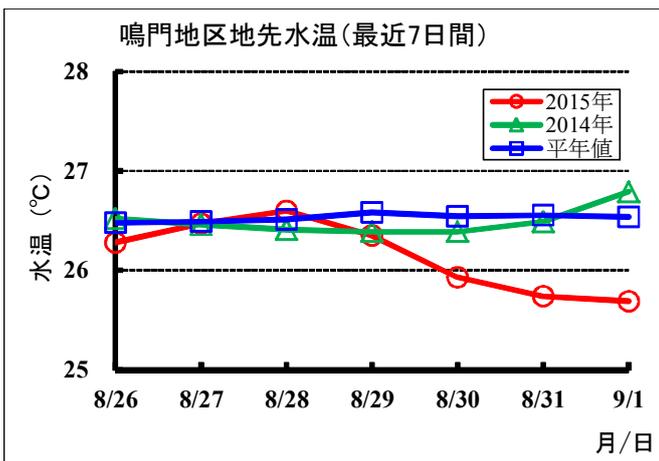
黒潮本流の表面水温は27～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で24～25℃台、紀伊水道で24～26℃台、海部沿岸では26～27℃台である。紀伊水道から紀伊水道外域では26℃台の水域に広く覆われている。



漁業調査船「とくしま」で8月11, 17及び27日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、0～30m層は「やや高め」の27.9～25.3℃、50～100m層は「平年並み」の21.7～17.4℃であった。

海部沿岸海区観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
8/11, 17, 27	今年値	27.9	27.6	26.6	25.3	21.7	17.4	32.6	33.6	33.9	34.1	34.6	34.7
	平年偏差	0.7	1.2	1.2	0.9	0.0	0.0	-0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.1
	前年偏差	0.4	0.6	0.1	-0.9	-2.2	-1.4	0.7	1.1	0.7	0.5	0.4	0.1



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の25.7～26.6℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の26.7～27.4℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の26.8～27.8℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

*平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

*2015年8/29～8/30の日和佐地区地先水温は美波庁舎改築に伴う揚水ポンプの停止等により欠測

2. 漁況の経過

台風15号による荒天のため、出漁回数が少なかった。

延縄：海部沿岸でアカムツが0.6トン（1日1隻あたり19kg）、中主体にマサバが0.5トン（同35kg）、大主体にゴマサバが0.2トン（同12kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で小主体にマサバが5.7トン（同517kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが52.5トン（同438kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年8月24日～2015年8月30日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	32	614	19	
		マサバ	13	455	35	中主体
		ゴマサバ	18	214	12	大主体
小型定置網		マサバ	11	5,687	517	小主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	120	52,500	438	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の8月25日～8月31日には、海部沿岸では、延縄で小主体にアカムツが0.5トン、紀伊水道では、釣りでタチウオが0.2トン、中主体にサワラが0.4トン、パッチ網でシラスが73.6トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「低め」の25～26℃台、日和佐地先で「平年並み」～「やや低め」の26～27℃台で推移する見込み。